

事業名	食育推進費		調書番号	11	
細事業名	食育推進シンポジウム開催費	財務コード	714201		
担当部課室	県民生活 部	消費生活安全 課	食の安全・食育 担当	(内線) 2274	

I 事業の概要

実施期間	始期 H18 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 消費者、学校・保育所関係者、食品関連事業者等	その対象をどのような状態にして 食に関する正しい知識を持ち、自らが食を選択できる力を得ることができる	結果、何に結びつけるのか 食育運動の推進
内容	<p>○事業概要 消費者、学校・保育所関係者、食品関連事業者等を対象としたシンポジウムを開催し、食育に対する県民の意識の高揚と関係者の連携を促進することにより、県民運動としての食育を効果的に推進していく。</p> <p>※財源は、中山間地域農村活性化基金</p> <p>【食育推進シンポジウムの開催】 ・対象者 一般消費者・消費者団体関係者、学校・保育所関係者、食生活改善推進員、食品関連事業者 等 ・開催時期 6月：食育月間(国の食育推進基本計画で定められている)</p> <p>【H29実績】 ・平成29年6月13日(火) 午後1時30分～ 県立文学館講堂 テーマ ～学校や地域における食育の推進～ 基調講演 「食べる」と「生きる」はくっついている 料理研究家 枝元なほみ氏 事例発表 韮崎市立韮崎中学校 栄養教諭 中田智絵氏 マルサマルシェクッキングスタジオ 古屋千鶴氏 都留市 管理栄養士 蒲地華奈依氏 コーディネーター 山梨学院大学 藤井まさ子氏</p>		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	参加者数	目標	300	300	300	300	300	300
		実績(見込)	400	350	310	380	245	260
		達成率	133%	117%	103%	127%	82%	87%
		達成区分	a	b	b	a	b	b
成果指標	参加者アンケート結果 (大変参考になった・参考になったと回答した割合)	目標	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		実績(見込)	96.2%	84.1%	81.6%	89.1%	94.1%	97.7%
		達成率	96%	84%	82%	89%	94%	98%
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		425	431	407	380	425	466	466

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価
成果指標	b	
参加者アンケートの結果は年々向上しており、意図した成果をあげている。		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	参加者のアンケート結果は年々向上しており、今後もアンケート結果や県民の要望を踏まえた内容で実施する。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	山梨県中山間地域農村活性化基金条例及びふるさと水と土保全対策事業の実施要綱・要領に則り事業を実施しており、一定の成果をあげている		
見直しの必要性	無	中山間地域農村活性化基金を活用した事業であること及び、国が定める食育月間実施要綱に基づき食育イベントを全国で開催することになっており、食育推進シンポジウムは食育月間に行う主要イベントであるため、その実施については見直す必要はありません。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがなければ「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。